

# 子どもたちの 確かな学力・豊かな心を育むために

平成21年度 「全国学力・学習状況調査」の結果から

## 倉吉市教育委員会

〈保護者のみなさまへ〉

「全国学力・学習状況調査」は、平成19年度より実施され、今年度で3年目となる調査です。全国全ての公立小中学校が参加し、その結果が8月末に公表されました。

倉吉市の小中学校では、本調査の結果について以下の資料を返却します。

- 1 個人に関するもの  
①学力調査に関する個人票      ②質問紙調査に関する個人票
- 2 市全体に関するもの  
③本資料（倉吉市教育委員会作成）

この調査は、学力を把握するための学力調査と、学力の背景にある学習・生活状況を把握するための児童生徒質問紙調査で構成されています。

この結果を活用して、学校と家庭、地域社会が連携しながら、学力の向上や豊かな心の育成、規則正しい生活習慣の定着をめざしていきたいと考えます。

### 学力調査の結果の概要（倉吉市 平均正答率の結果）

2～3ページに  
問題例を掲載し  
ています。

国語A（知識・技能に関する問題）

小6：全国平均を上回っています。

中3：全国平均とほぼ同等です。

国語B（活用に関する問題）

小6：全国平均とほぼ同等です。

中3：全国平均とほぼ同等です。

算数A（知識・技能に関する問題）

数学A（知識・技能に関する問題）

小6：全国平均を上回っています。

中3：全国平均とほぼ同等です。

算数B（活用に関する問題）

数学B（活用に関する問題）

小6：全国平均とほぼ同等です。

中3：全国平均とほぼ同等です。

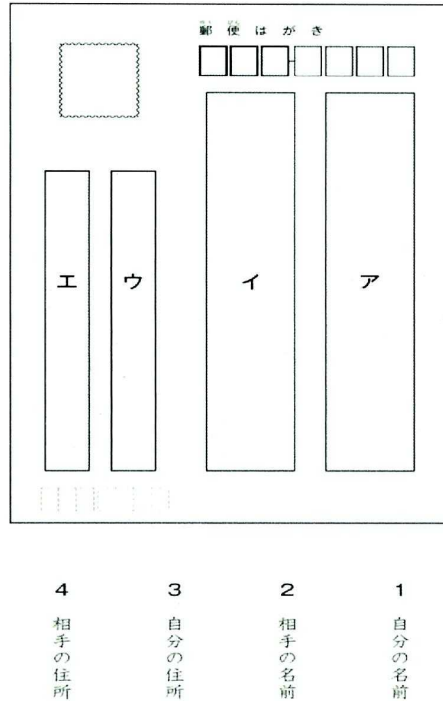
# 『A問題』にはこのような問題がありました

## 小6 国語

【 正解 】

ア 4      イ 2  
ウ 3      エ 1

※ はがきの表書きの書き方に関する問題です。  
この問題では、倉吉市の子どもは全国平均と比べ、正答率が10%程度高い結果でした。



3 小林さんは、転校していった友達にはがきを書くことになりました。はがきの表に名前や住所を書きます。次のア・イ・ウ・エの中に入るふさわしいものを、下の1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

## 中3 数学

(2) 大小2つのさいころがあります。この2つのさいころを同時に投げるとき、出る目の数の和が7になる確率を求めなさい。ただし、どちらのさいころも1から6までの目の出方は同様に確からしいものとします。

【 正解 】

$\frac{1}{6}$

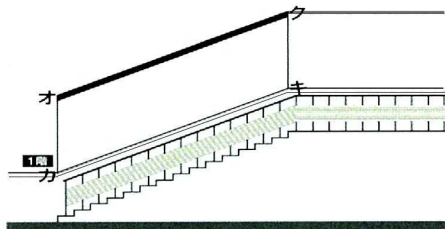
※ 数学Aの最後の問題です。

確率に関する問題ですが、この問題も全国平均と比較して10%近く高い正答率でした。

また、図形に関する問題の正答率が全般的に高くなっていました。

## 『B問題』にはこのような問題がありました

- (2) 下の図の点オから点クまでのところに、かざりをつけようと思います。  
点オから点クまでの **——** の部分の長さを知りたいのですが、高い場所なので、長さを直接はかることができません。



上の四角形オカキクは、平行四辺形とみることができます。  
そこで、ゆうじさんは、点オから点クまでの長さを知るためには、点カから点キまでの長さをはかればよいと考えました。  
このように考えたわけとして正しいものを、下の 1 から 5 までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 平行四辺形は、2つの対角線の長さが等しいから。
- 2 平行四辺形は、4つの辺の長さが等しいから。
- 3 平行四辺形は、向かい合っている辺の長さが等しいから。
- 4 平行四辺形は、向かい合っている角の大きさが等しいから。
- 5 平行四辺形は、向かい合っている辺が平行だから。

### 小6 算数

【 正解 】 3

※ 図形の性質をもとに考える問題です。

この問題は、やや正答率が低く、「5」と誤答している子どもが倉吉市ではやや多いという結果でした。

この結果を分析し、今後の学習指導に役立てていきます。

### 中3 国語

【 正解 】 4

※ 案内図（掲載はしていない）をみて、表現の仕方や文章の特徴を考える問題です。

これも本市の子どもたちの正答率がやや低かった問題です。

①、②、③が図の中にあり、

「4」は正しいと単純に考えた生徒が多かったのではと考えられます。じっくりと考え、正解を導き出す習慣を身につけさせていきたいと考えています。

- 1 それぞれの枠囲みの近くにイラストが添えてある。
- 2 利用者の立場で「くとき」と使う場面が書いてある。
- 3 説明が敬体（です・ます体）で簡潔に書いてある。
- 4 各場所へ行く順序が①、②、③のように示してある。

二 山田さんは「子ども図書館案内図」を見て、「場所ごとに枠囲みで情報が小さく分りやすいな」と思いました。場所ごとに枠囲みで情報が小さく分りやすいこと以外の手伝として当てはまらないものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

## 児童生徒質問紙調査の結果を基に

1 全国平均と比較して、±5%以上の差が見られる質問は以下のとおりでした。

### 【肯定的回答が全国平均と比較して「高い」と考えられる質問】

質 問 内 容		倉吉市	全 国	差
◇朝食、夕食を家族一緒に食べる習慣 〔(どちらかといえば)しているの回答〕	小	83.1%	75.6%	+ 7.5%
	中	67.5%	62.0%	+ 5.5%
◇午前7時までに起床する習慣 〔(どちらかといえば)しているの回答〕	小	90.4%	76.5%	+ 13.9%
	中	60.3%	52.3%	+ 8.0%
◇平日にテレビゲームをする時間 〔「1時間未満」の回答〕	小	60.3%	52.3%	+ 8.0%
	中	66.4%	59.8%	+ 7.1%
◇携帯電話所持率 〔「持っていない」の回答〕	小	80.5%	69.4%	+ 11.1%
	中	74.3%	39.8%	+ 34.5%
◇携帯電話に関する家族での約束 〔「約束はない」の回答〕	中	3.5%	13.8%	- 10.3%
	小	80.3%	62.4%	+ 17.9%
◇地域行事への参加 〔(どちらかといえば)しているの回答〕	中	51.9%	37.8%	+ 14.1%
	中	76.0%	69.6%	+ 6.4%
◇授業中での発表する機会 〔(どちらかといえば)あるの回答〕	中	68.8%	52.7%	+ 16.1%
	中	75.8%	68.8%	+ 7.0%
◇国語の授業の内容がよくわかる 〔(どちらかといえば)わかるの回答〕	中	74.3%	67.4%	+ 6.9%
	中	74.3%	67.4%	+ 6.9%
◇読書が好き 〔(どちらかといえば)好きの回答〕	中	74.3%	67.4%	+ 6.9%
	中	74.3%	67.4%	+ 6.9%
◇学校や地域の図書館に行く回数 〔「週に1回以上」の回答〕	小	36.4%	18.2%	+ 18.2%
	中	22.0%	7.9%	+ 14.1%

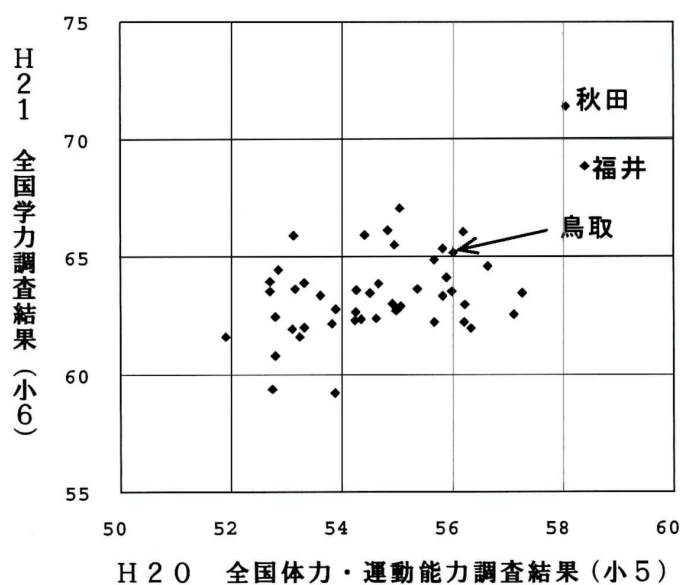
### 【肯定的回答が全国平均と比較して「低い」と考えられる質問】

質 問 内 容		倉吉市	全 国	差
◇平日の家庭学習の時間 〔小は「1時間以上」、中は「2時間以上」の回答〕	小	48.6%	57.2%	- 8.6%
	中	26.4%	35.7%	- 9.3%
◇家庭学習で復習をする習慣 〔(どちらかといえば)しているの回答〕	小	40.3%	46.0%	- 5.7%
	中	31.3%	40.5%	- 9.2%
◇国語の勉強が好き 〔(どちらかといえば)好きの回答〕	小	50.0%	58.3%	- 8.3%
	中	47.2%	53.5%	- 5.3%
◇算数・数学の勉強が好き 〔(どちらかといえば)好きの回答〕	中	47.2%	53.5%	- 5.3%
	中	56.4%	64.9%	- 8.5%
◇算数・数学の授業の内容がよくわかる 〔(どちらかといえば)わかるの回答〕	中	56.4%	64.9%	- 8.5%
	中	56.4%	64.9%	- 8.5%
◇算数・数学で問題を解くときに簡単な方法がないか考える 〔(どちらかといえば)考えるの回答〕	小	72.1%	78.1%	- 6.0%
	中	52.7%	63.6%	- 10.9%

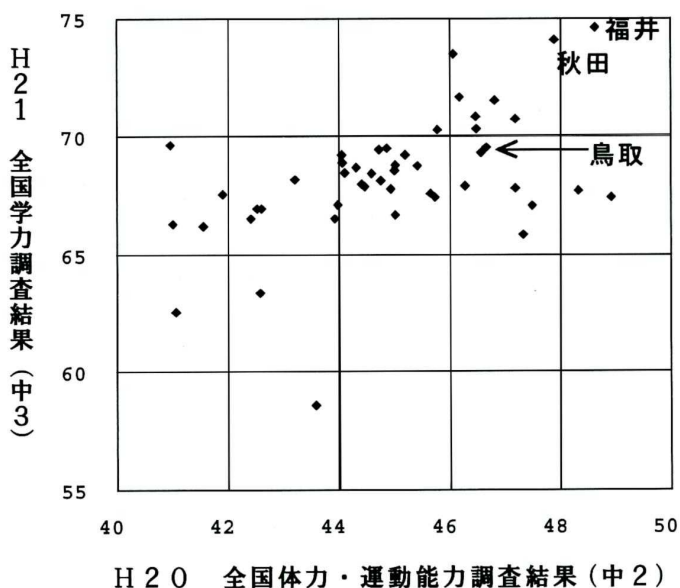
■質問紙調査の結果をみると、「家庭や学校、地域における生活習慣」については概ね良い状況にあると考えられます。  
 しかし、「学校や家庭における学習習慣」については、課題と考えられる質問項目がいくつか見られました。この点については、さらに詳しく分析を行い、対策を講じていきたいと考えています。

## 参考) 体力との関係でみると・・・

### 【小学校】



### 【中学校】



◇今年度の小6、中3にあたる児童生徒は、昨年度の全国体力・運動能力調査の対象となっていました。左のグラフは、47都道府県の調査結果を示したものです。

◇横軸は体力の得点を示したもので、以下の実技検査の結果を得点化した結果です。

- ①握力
- ②上体起こし
- ③長座体前屈
- ④反復横とび
- ⑤20mシャトルラン(持久走)
- ⑥50m走
- ⑦立ち幅とび
- ⑧ソフトボール・ハンドボール投げ

◇縦軸は今回の全国学力調査の正答率を示したものです。

◇この結果をみると、「学力調査の正答率」と「体力・運動能力の得点」とは、関連性がかなりあるものと考えられます。

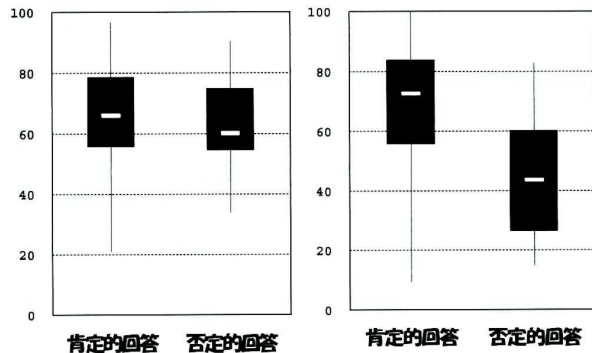
◇本市としましては、この体力・運動能力調査結果も参考にしながら、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成のための取組みを進めていきます。

## 2 学力調査と関連が見られた質問紙調査の質問は以下のとおりでした。

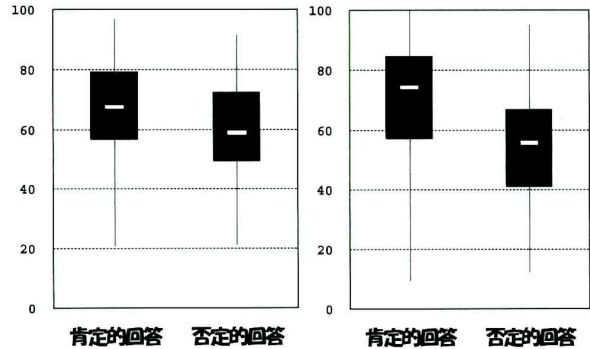
※グラフは、左側が小学校、右側が中学校の結果を示しています。

グラフの見方は、別紙「参考資料（1）」を参考にしてください。

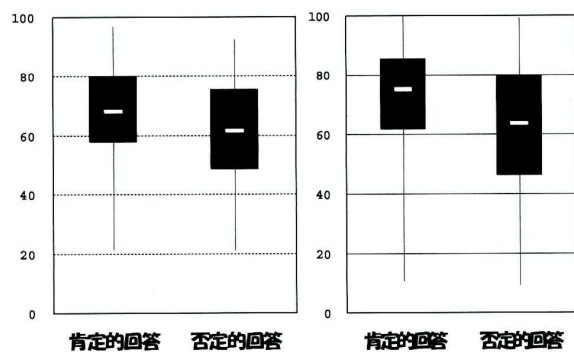
### 朝食を毎日食べる



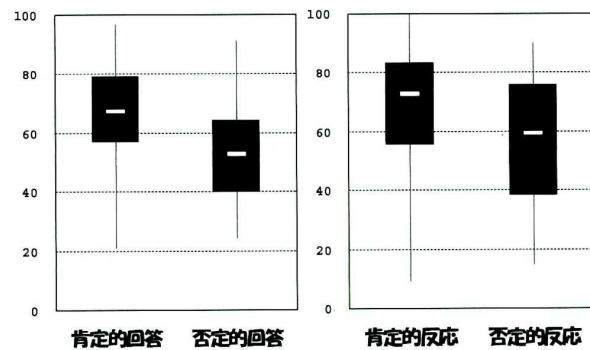
### 学校の準備を前日にする



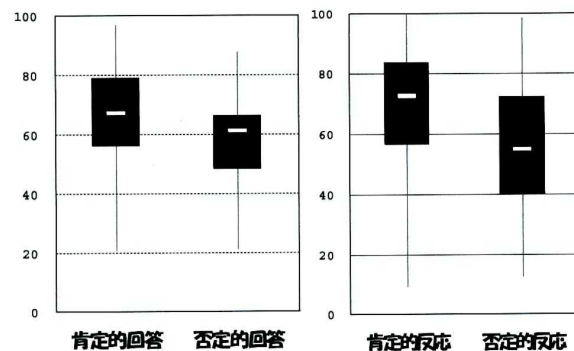
### 学校の出来事を親と話す



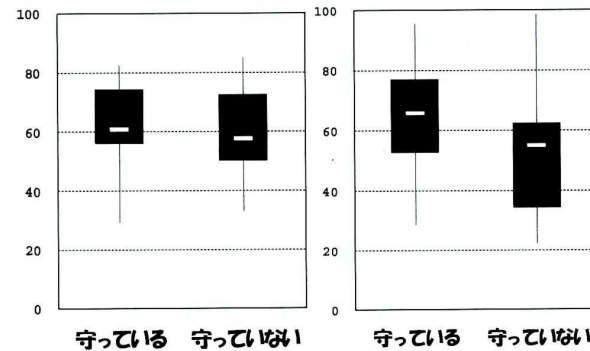
### 人の気持ちがわかる人間になりたい



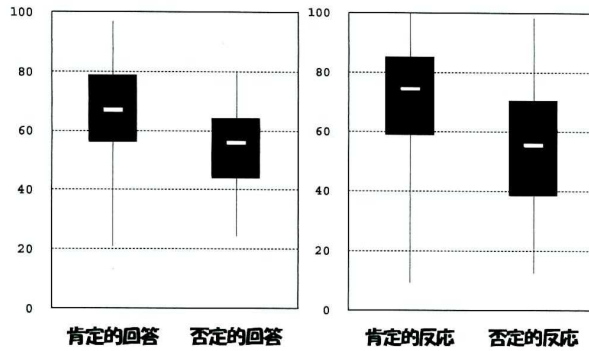
### 学校のきまりを守っている



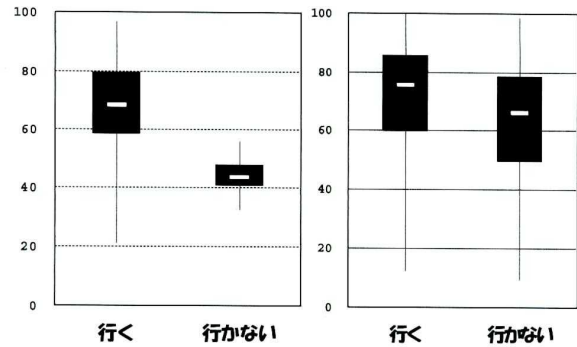
### 携帯電話の約束を守っている



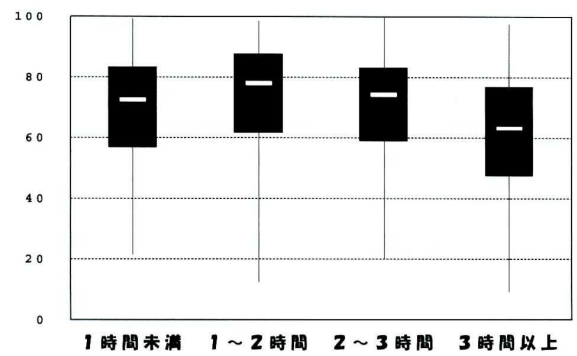
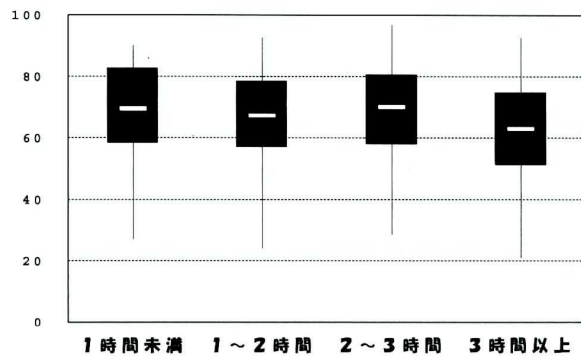
### 家で学校の宿題をしている



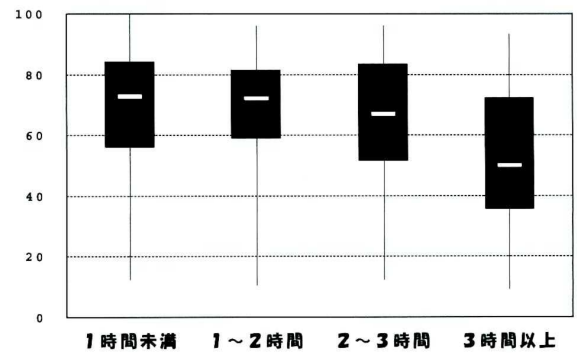
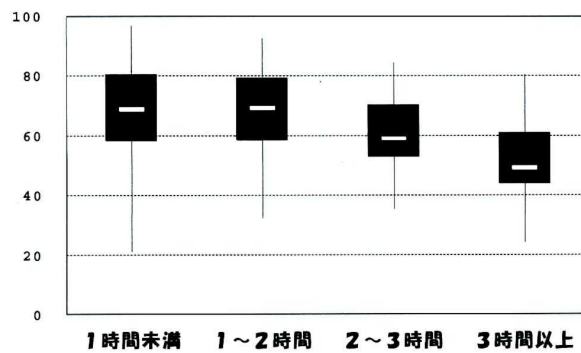
### 学校や地域の図書館に行く



### 家で平日（月曜日から金曜日）にテレビを視聴する時間



### 家で平日（月曜日から金曜日）にテレビゲームをする時間



◇質問紙調査と学力調査については、上記のように関連性が見られるものが多くありました。  
 児童生徒を取り巻く様々な（学力向上には直接関係していないと思われるかもしれない）環境が、子どもの学習状況に影響を与えていることが伺えます。  
 学校や家庭、地域社会がそれぞれの役割を果たし、学習効果が上がる環境づくりを行っていくことが大切になります。

※ これまでの2年間、全国学力・学習状況調査の結果を受け、各家庭で気をつけていただきたいこととして、以下の10項目をお願いしてきました。

- ① **毎日、朝食をしっかりと食べましょう！**
- ② **適度な睡眠をとりましょう！**
- ③ **早寝・早起きできる習慣をつけましょう！**
- ④ **親子で本を読みましょう！**
- ⑤ **子どもと話をする時間を持ちましょう！**
- ⑥ **自分のことは自分でする時間を持ちましょう！**
- ⑦ **時間を決めてテレビを見る習慣をつけましょう！**
- ⑧ **情報機器は、時間を決めて上手に使いましょう！**
- ⑨ **家庭学習にしっかり取り組む習慣をつけましょう！**
- ⑩ **社会のルール守り、他を思いやる豊かな心を育みましょう！**



「基本的な生活習慣」と「家庭での学習環境」づくりは、それぞれが家庭の役割だと考えます。

今年度の結果も今までとほぼ同様の状況が見られたことから、教育委員会としましても『倉吉の子育て十ヶ条（仮称）』を作成し、学校と家庭が協力して子どもたちの「確かな学力・豊かな心」を育てる取組みについて協議しています。

※ 本調査におきましては、本市の子どもたちの学力は、全国平均をほぼ上回っているか同等の結果でした。しかし、調査結果はあくまでも「国語」「算数・数学」の2教科に限定されたものであり、学力の特定の一部分を示しているものに過ぎません。本市では、今後も、小中学校で学習する全教科・全領域で教育水準を高めていく教育活動を進めてまいりたいと考えております。

また、児童生徒質問紙調査の結果から、「家庭での学習時間」など、改善しなければならない課題があることもわかりました。

教育委員会としましては、今後とも学校と家庭、さらには地域社会がしっかりと連携し、本市の子どもたちの良さと課題を共有し、子どもたちの有している能力が最大限発揮され、豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成に努めてまいりたいと考えております。

皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、わからないことや不安なことがありましたら、学校または教育委員会にご連絡ください。

倉吉市教育委員会学校教育課

〒 682-8611 倉吉市葵町722

TEL 22-8166